

東京女子医科大学病院 第1病棟

電化厨房の利点を活かして
「新世紀にふさわしい厨房」
が完成。患者さまへのより
細やかな対応が可能に。



そのヒミツは…？



●東京女子医科大学病院
栄養課
課長 立松 栄次氏

当院では、第1病棟建設を機に、これまで2ヶ所に分散配置されていた厨房を集約することになりました。そこで、30年以上前からあためていた「新世紀にふさわしい厨房」の実現を目指し、安全・衛生管理とフードサービス、省エネ性の向上を基本テーマに、厨房計画に取り組みました。

その際、当院は東京都の災害拠点病院に指定されており、有事にも病院機能の維持が求められることを考慮して、厨房の熱源は災害時の普及が早い電気になりました。

幸い、電化厨房は厨房内の温湿度上昇が少ないので、これまで夏場は40℃を超えていた作業環境を大幅に改善でき、作業員のモチベーションや衛生管理の向上につながるものと期待しています。

電化厨房の導入によって「新世紀にふさわしい厨房」が完成しましたので、今後は患者さまの早期回復をアシストする適切な食事提供のさらなる充実化を図っていく所存です。

その後には、退院後の食生活サポートにも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

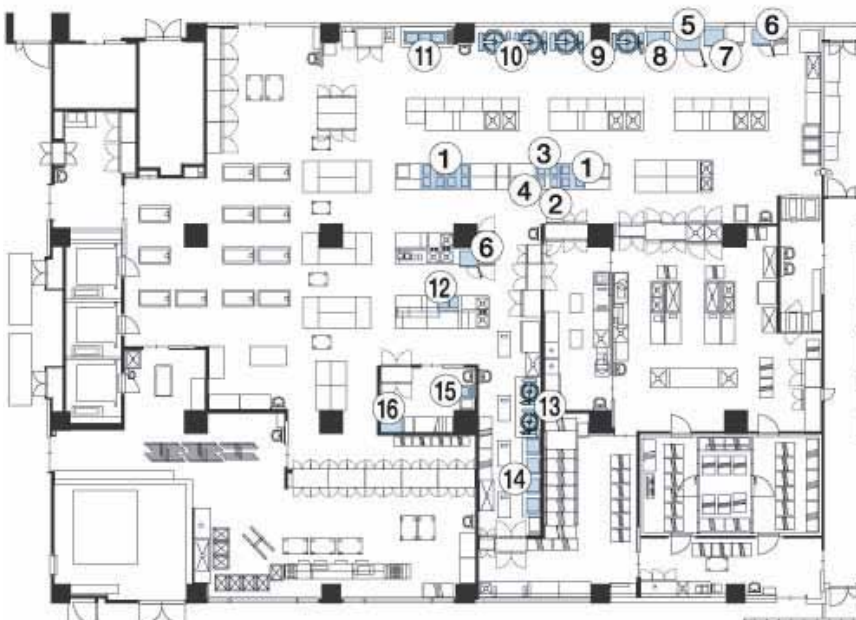


食材の出し入れがスムーズなカートインタイプのスチームコンベクションオーブン



効率的な作業動線構築のためにコントロール部が集約されたIH調理器

厨房機器設備



電化厨房採用事例紹介 Eサkses施設

1. IH調理器	3φ200V	16.0kW×3台	9. 電気回転釜	3φ200V	21.6kW×2台
2. IH調理器	3φ200V	3.0kW×1台	10. 電気回転釜	3φ200V	27.0kW×2台
3. IH調理器	3φ200V	10.0kW×1台	11. 電気フライヤー	3φ200V	9.6kW×3台
4. IHローレンジ	3φ200V	5.0kW×1台	12. IH調理器	3φ200V	5.0kW×2台
5. スチームコンベクションオープン	3φ200V	57.5kW×1台	13. 電気スूपケトル	3φ200V	19.0kW×2台
6. スチームコンベクションオープン	3φ200V	17.5kW×2台	14. 電気自動炊飯器	3φ200V	16.2kW×4台
7. スチームコンベクションオープン	3φ200V	34.5kW×1台	15. 真空包装機	3φ200V	2.0kW×1台
8. 真空冷却機	3φ200V	8.7kW×1台	16. プラストチラー	3φ200V	2.2kW×1台

施設のご紹介

東京女子医科大学病院は、明治41年に東京女医学校の付属病院として開設され、以来一貫して医療の最先端を歩み続けてきました。そして21世紀を迎え急速に進む医療ニーズの高度化と多様化に対応するために、平成15年には高精度放射線治療装置などの最新医療設備や医療と健康に関する情報を発信する「からだ情報館」などを設置した「総合外来センター」をオープン。

さらに、平成22年3月にオープンする第1病棟を皮切りに、医療の質と安全性のさらなる向上、患者さまのアメニティ改善などを目指した病棟の再開発が着々と進められています。



- 所在地／東京都新宿区河田町8-1
- TEL／03-3353-8111(大代表)
- ホームページ／<http://www.twmu.ac.jp/>

施設概要

■調理能力 約1,400食／日(うち、特別食約540食) ■スタッフ数 22人／日 ■厨房面積 1088.66㎡

その他設備機器

氷蓄熱式空調システム